

鉄道事業者と地域の協働による 地域モビリティの刷新に関する検討会資料

東日本旅客鉄道株式会社
2025年 11月 25日

第1回検討会における問題提起に関する考え方①

① 鉄道ネットワークのあり方と地域におけるモビリティの最適解に関する考え方

- ・鉄道は大量・高速・定型輸送が得意な一方、路線維持にかかる固定費やメンテナンスの人員が膨大である
- ・鉄道と他のモビリティのベストミックスにより、今よりも便利で持続可能性の高い交通体系の実現が可能となる

② まちづくりとローカル鉄道への関わり方についての意見

- ・鉄道が役割を発揮できる地域においては、まちづくりとの相乗効果による地域活性化の可能性が大きい
- ・鉄道以外のモビリティと地域活性化施策の組み合わせにより、効果があげられる地域もあるのではないか
- ・まちづくりの観点で、地域に最適なモビリティについて地域と一緒に考えていきたい

③ 内部補助で路線を維持することについての意見、公的負担の在り方

- ・JR会社法の一部改正法に伴う大臣指針に基づき、路線の適切な維持に努めているところ
- ・会社発足以降、鉄道事業の収入・コスト構造が大きく変化し、内部補助の規模も拡大している
- ・内部補助についてすべて否定するものではないが、過度な内部補助は、本来高品質なサービスを提供するべきご利用の多い線区に対する公平性の観点からも問題である

第1回検討会における問題提起に関する考え方②

④ ローカル鉄道を含む持続可能な地域公共交通に向け、国に求めること、役割

▼ 求める役割について

- ① 地域の活力の維持向上のために、住民や観光客の移動の利便性を確保することが必要
- ② 持続可能な地域公共交通の実現のためには、利便性・低コスト・省力化の追求が必要
- ・ 上記について国、地方公共団体、事業者が一体となって取り組みを深めるうえで、指導力をさらに発揮することをお願いしたい

▼ 支援について

- ・ 事業者単独では維持が困難な路線を鉄道として残す場合、維持運営に対して国や地方公共団体の支援が入るような仕組みの構築をお願いしたい
- ・ 鉄道からのモード転換後の鉄道施設の利活用や撤去の取り扱いに対する支援をお願いしたい
- ・ ローカル鉄道の再構築に関わる財源の安定的な確保やさらなる拡充をお願いしたい

第1回検討会における問題提起に関する考え方③



⑤ ローカル鉄道を含む持続可能な地域公共交通に向けて自らが果たす役割、自治体に求めること

▼ 事業者として果たす役割

- ・ 鉄道の使命である安全の確保のため、ハード対策のみならずソフト対策(徐行や計画運休)によるリスク低減に取り組む
- ・ 安全確保を前提とし、設備のスリム化や省人化等に取り組むことで、鉄道の持続可能性を高めていく
- ・ 地域の共創パートナーとして、観光、イベント等を通じた地域活性化に引き続き貢献していく
- ・ 持続可能な地域公共交通体系構築のため、地域と協働しモビリティのベストミックスの実現に努める

▼ 自治体に求めること

- ・ 持続可能な地域公共交通のあり方について、地域の関係者で主体的に議論をお願いしたい
- ・ 鉄道として維持する場合は、路線の持続可能性を高めるため、鉄道運行に直接関係しない設備の維持管理や、昼間帯の運休を伴う線路メンテナンス、設備のスリム化等への理解・協力をお願いしたい

⑥ その他特に申し上げたいこと

- ・ 国鉄から継承した鉄道インフラの老朽化進行に伴う大規模修繕や、自然災害の激甚化に伴う設備強化の必要性が高まっている
- ・ 上記については工事費が膨大であり、ご利用の少ない路線への投資について株主の理解を得ることは困難である
- ・ 現在は日々のメンテナンス等によりリスク抑制しているものの、時間の経過とともにリスクは増加する

○路線別平均通過人員の推移(一部抜粋)

1987年度=100

(指數)

120

100

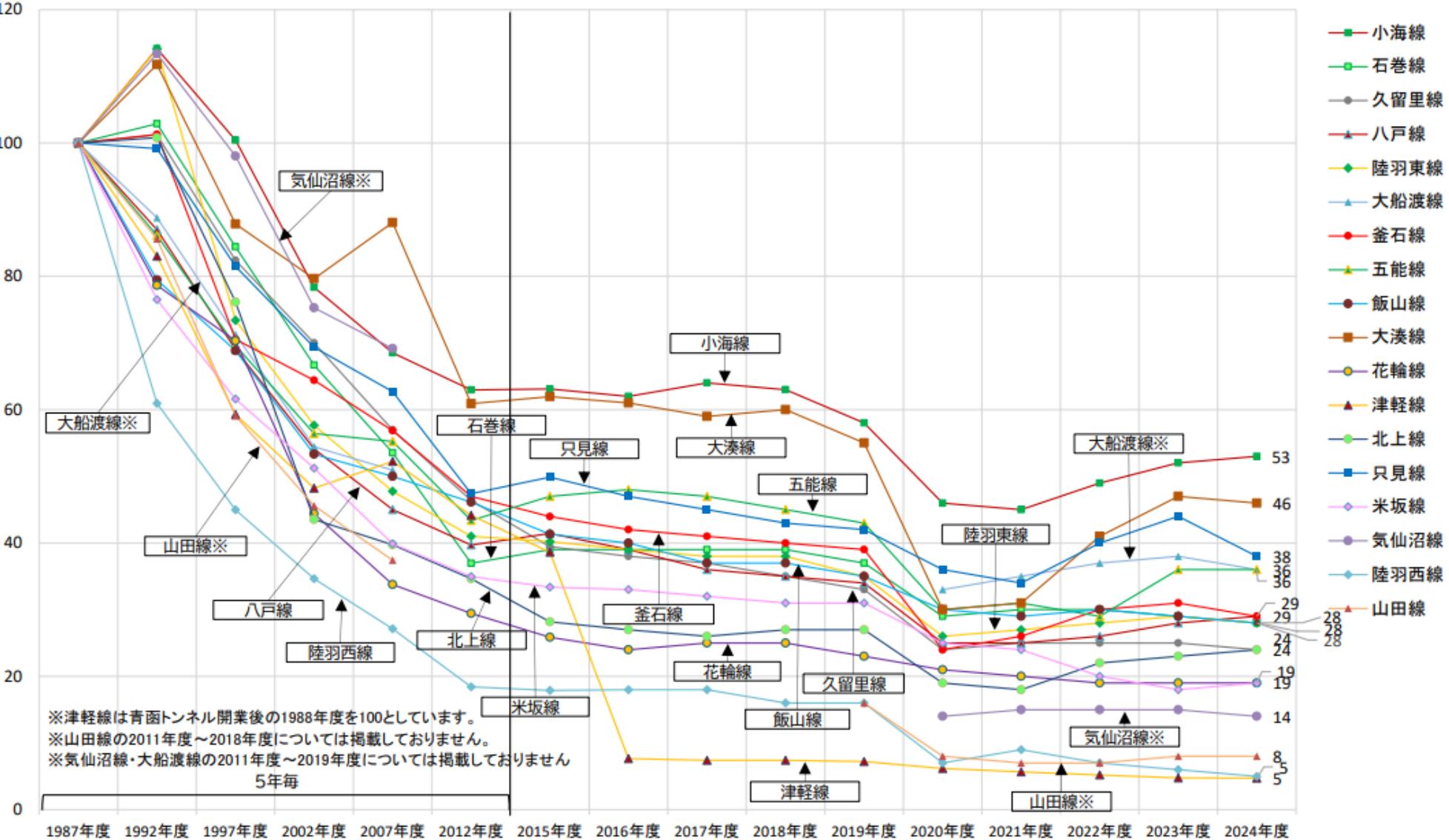
80

60

40

20

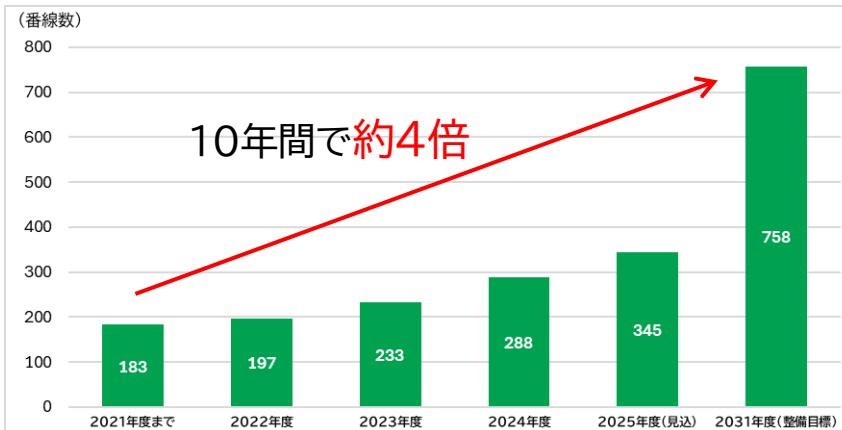
0



参考資料②

○設備投資の取り組み(一例)

▼ホームドア整備番線数(実績および目標)



▼新製車両の導入



E8系(山形新幹線)

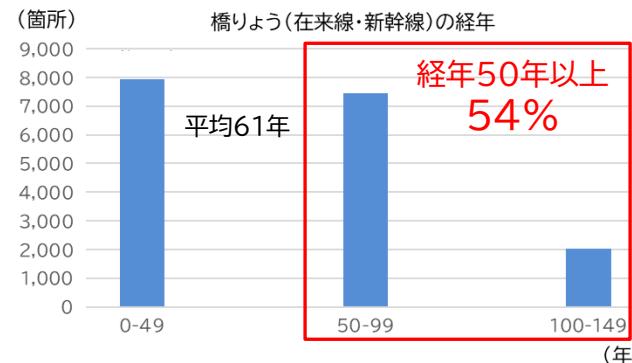


E235系(山手線等)

安全・安定性や快適性を高めるため、安全設備の強化や新型車両投入等の設備投資を継続

○鉄道構造物の老朽化

▼橋りょうの経年状況(当社管内 約17,400箇所)

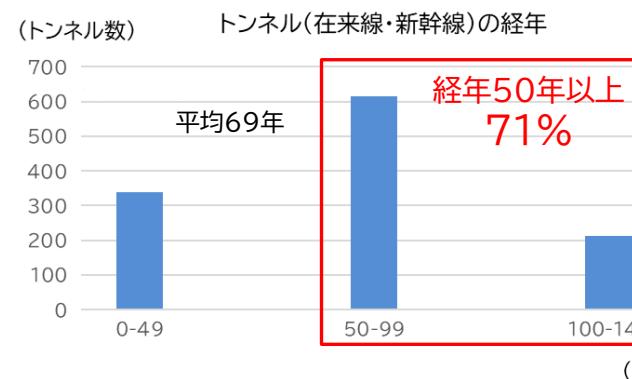


【鋼橋りょうの変状 ・対策事例】

塩害環境下における腐食により塗膜劣化が早期に進行
防錆効果の高い塗料によるペイント塗替を一部箇所で実施



▼トンネルの経年状況 (当社管内 約1,200箇所)



【老朽トンネルの変状 ・対策事例】

凍結・誘拐作用などにより、部材剥離や漏水等が進行
落下防止およびツララ対策を目的に剥落防止工や導水樋の施工を実施



鉄道構造物の老朽化進行に伴い、安全安定輸送確保に必要な修繕・更新工事が増加

参考資料③

○観光キャンペーン、イベントの開催

- ・観光キャンペーンや旅行商品の販売
- ・沿線イベントやお得なきっぷの販売



キャンペーン



スタンプラリー



フリーパス

○イベント列車の運行

- ・沿線を楽しんでいただける臨時列車の運行



のってたのしい列車やイベント列車の運行

○観光活性化

- ・鉄道文化遺産を活用したイベント
- ・エキナカや都市部、JREモールでの地域PR、地産品の販売



廃線ウォークイベント



産直市やエキナカ、JREモール等での地産品販売

